

# きよなん 議会だより



令和4年10月20日

第144号

〒299-2192  
千葉県安房郡鋸南町下佐久間 3458  
TEL0470-55-4804

発行／鋸南町議会  
編集／議会広報特別委員会



～ きよなんBG塾 ～

ふるさとの海、山、ともだち！

町ホームページにも本誌を掲載しています  
カラーでより鮮明な画像をご覧になれます



## はやわかり

令和4年9月定例会	2
4議員が町政を問う	4
決算審査特別委員会	8

# コロナ禍、原油・物価高騰に対する 補正予算等を可決

令和4年第5回定例会を、9月6日から9月15日までの10日間の会期で開催しました。規約変更1件、水道事業会計に関する処分、補正予算5件の審議を行い、原案の通り全員賛成で可決しました。  
令和3年度の決算認定は、9月12日に決算審査特別委員会を開催して審議を行った結果、全員賛成で全件認定されました。  
一般質問には4議員が登壇しました。

## 規約変更

千葉県市町村総合事務組合の公平委員会に関する事務に四市複合事務組合が加入するための規約変更。

## 水道事業会計

令和3年度の鋸南町水道事業会計における未処分利益剰余金の処分。

## 一般会計補正予算

### 〈主な歳入補正〉

- ◆ 地方交付税の確定 9267万8千円
- ◆ 国庫支出金（新型コロナウイルス感染症対応） 8086万6千円
- ◆ 町債追加発行 2026万5千円

### 〈主な歳出補正〉

- ◆ 原油・物価高騰に対する中小企業等への支援金 4228万円
- ◆ 個人・事業者の水道基本料金3ヶ月間免除補助金 2760万円
- ◆ 低所得者の介護保険料減免 2064万8千円
- ◆ オミクロン対応ワクチン接種対策 1860万8千円
- ◆ 都市交流施設の浄化槽工事 623万5千円
- ◆ 庁舎等電気料金 1078万7千円
- ◆ 給食センターの冷凍冷蔵庫 299万2千円
- ◆ 高速バスラッピング広告 272万8千円
- ◆ 国保会計補正予算 105万円
- ◆ すこやか電気料金

## 介護会計補正予算

### 〈主な歳入補正〉

- ◆ 第1号被保険者保険料 ▲2064万8千円
- ◆ 低所得者保険料軽減繰入金 2064万8千円

## 病院会計補正予算

- ◆ 検診用医療機器 350万円

## 水道会計補正予算

### 〈主な歳入補正〉

- ◆ 給水収益（基本料金免除3カ月分） ▲2760万円
- ◆ 新型コロナウイルス対策補助金 2760万円



高速バス後部の広告

## 【令和4年9月補正予算】

会計		補正前の額	補正額	補正後の額
一般会計		49億9293万1千円	2億5349万8千円	52億4642万9千円
国民健康保険特別会計		10億2043万3千円	121万5千円	10億2164万8千円
介護保険特別会計		14億7017万0千円	4684万0千円	15億1701万0千円
病院事業会計	資本的収支	753万7千円	350万0千円	1103万7千円
水道事業会計	収益的収入	4億9113万2千円	201万9千円	4億9315万1千円
	資本的収入	7000万0千円	3604万0千円	1億604万0千円
	資本的支出	2億8061万0千円	375万1千円	2億8436万1千円

# 本会議での 議 決 結 果

賛成「○」 反対「×」 ※議長は採決に加わりません

番号	件名 (件名は一部省略)	平島孝一郎	笹生正己	欠員	鈴木辰也議長	小藤田一幸	渡邊信廣	笹生久男	青木悦子	大塚昇	竹田和明	早川正也	笹生あすか
----	-----------------	-------	------	----	--------	-------	------	------	------	-----	------	------	-------

## ＜変更に関する協議＞

議案第1号	千葉県市町村総合事務組合規約の変更に関する協議	可決	○	○		—	○	○	○	○	○	○	○
-------	-------------------------	----	---	---	--	---	---	---	---	---	---	---	---

## ＜令和4年度補正予算＞

議案第3号	一般会計補正予算（第2号）	可決	○	○		—	○	○	○	○	○	○	○
議案第4号	国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○		—	○	○	○	○	○	○	○
議案第5号	介護保険特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○		—	○	○	○	○	○	○	○
議案第6号	鋸南病院事業会計補正予算（第2号）	可決	○	○		—	○	○	○	○	○	○	○
議案第7号	水道事業会計補正予算（第2号）	可決	○	○		—	○	○	○	○	○	○	○

## ＜決算の認定＞

議案第2号	令和3年度水道事業会計未処分利益剰余金の処分	可決	○	○		—	○	○	○	○	○	○	○
議案第8号	令和3年度一般会計歳入歳出決算	承認	○	○		—	○	○	○	○	○	○	○
	令和3年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算	承認	○	○		—	○	○	○	○	○	○	○
	令和3年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算	承認	○	○		—	○	○	○	○	○	○	○
	令和3年度介護保険特別会計歳入歳出決算	承認	○	○		—	○	○	○	○	○	○	○
議案第9号	令和3年度鋸南病院事業会計決算	承認	○	○		—	○	○	○	○	○	○	○
	令和3年度水道事業会計決算	承認	○	○		—	○	○	○	○	○	○	○

# いっばん質問

動画はこちら↓



**問** 町の人口減少をどう考えるか

**答** 他人事ではなく、施策に取り組みます

小藤田 一幸 議員

**町民は宝。人口減少の影響について**

**問**

鋸南町の平成12年、17年、22年、27年、令和2年の過去5回の国勢調査を見ると、回を重ねるごとに、約7百人、8百人、9百人、千人と前回よりも減少人数が増えている。減少率も館山市・鴨川市が5%、南房総市8%に比べ鋸南町は13%であり、10年来県下1位である。

町の収入の4割を占めるのは地方交付税だ。算定基準の最大の要素は何か。

**答**

人口です。ただし学校数や生徒数、高齢者人口など他にも要素はあります。

**意見**

これ以上人口が減ると商店や学校、病院が成り立たなくなる。行政の責任は大きい。

**行政は実績。これまでの**

**の取り組みは**

**問**

ふるさと納税は地域振興や町の財政収入にとって

大事な政策の一つで、各自治体も力を入れていて。新聞によると、令和3年度のふるさと納税の額は、前年度と比較して館山市は3割アップの3.2億円。南房総市は過去4番目に多い3.9億円という。鋸南町の実績はいくらか。

**答**

令和3年度は約1500万円です。

**問**

昨年より県全体は3割、国全体でも2割アップしているのになぜ町は半減したのか。

**答**

令和2年度は台風災害の支援金を含めた額で約2800万円です。今後は返礼品を増やしたり、効果的な広告をして、他の自治体に負けないようにします。

**自治体格差と今後の**

**取り組みは**

**問**

今後の町の行政方針を示した「鋸南町総合計画」の中に、「住んでいる地域は高齢者や障害のある人にも住みやすいと思いますか」というアンケートがある。「そう思わない」

「あまりそう思わない」という答えが45%を占める。もうじき人口の半数が65歳以上になる我が町において、他の自治体と比べて寝たきりになった時に入る高齢者施設が不十分ではないか。

**答**

この質問を糧にして、高齢者施策の充実を図りたいと思います。

国勢調査における鋸南町の人口の推移



# ここが聞きたい

早川 正也 議員

問

少子化対策としてできることは

答

地域学習を推奨します



## 児童、生徒数の減少

問

鋸南町の未来を担う小、中学校の児童・生徒数の推移はどうか。

答

小学校が保田と勝山が統合した平成26年では、鋸南小学校268名、鋸南中学校188名でした。現在は、鋸南小学校191名、鋸南中学校115名で、統合した時点と比べ、小学校では77名の減、中学校では73名の減となっています。いずれも2クラス分の減となっています。

問

集団活動の活性化の不足、人間関係の固定化の解消として、近隣市の学校や辰野町、足立区の学校、しおさい学校等との交流はあるのか。

答

小学校では町内のしおさい学校となわとび交流会や耐寒マラソンを行っていません。中学校では部活動で人数の減少からバレー部、野球部などが南房総市の中学校と合同チームを編成して新人戦などに参加しています。

問

配布したタブレットを活用した他校との交流は。

答

現状ではおこなっていません。授業での調べ学習、写真の撮影や作文、絵画の共有などに利用しています。

問

中学校で専門教科担任不足はどう補っているか。

答

非常勤講師の先生をお願いしていますが、生徒への教育に支障がないよう先生の配置に努めます。

## 部活動について

問

中学校での部活動の入部は選択の範囲が狭まる中強制入部は問題があるのでは。

答

現在は全員が部活動に入部しています。しかし水泳、サッカーについては学校の外のクラブ等でも活動している例もあります。学校外でのクラブでの活動がないときは中学での部活動で練習等をして、クラブでの活動があるときは顧問の先生と相談のうえ校外でのクラブ活動を許可されています。

問

学校での部活動の地域移行は進んでいるか。

答

現状は進んでいません。

## 今後の方策について

問

国は地域の住民・企業・団体などを核とした地域づくりを目指し、地域学校協働活動を推進していますが町の取り組みはどうか。

答

地域の方々の協力を得て「放課後子ども教室」を行っています。また、「学校応援団」として、中学校では活動の補助、小学校では給食の配膳などの支援をいただいています。

問

保護者、地域住民などが一定の権限を持って学校運営に参画するコミュニティ・スクールについてはどうか。

答

令和5年度導入に向け準備を進めています。



放課後子ども教室でのウクレレの練習

竹田 和明 議員



## 問 町の「計画責任」を質す

## 答 構造的に厳しい状況もある

鋸南町は県下で最も人口減少、高齢化が顕著で、財政力も弱い弱だ。将来にわたり安心して住み続けられる町としていくには、行政計画を確実に実行するという、町の計画責任が求められる。

### 総合計画の進捗状況は

**問** 本町は高齢化・過疎化が顕著だ。現状を改善させるには、総合計画に掲げた施策・取組みを着実に実行する必要がある。進捗状況はどうか。

**答** 総合計画は各種計画を網羅した包括的な計画であるため、中長期的に取り組む事業や着手には至らないものもあります。

**問** 中長期的に取り組むとは、どの位のスパンを言っているのか。総合計画の基本計画は5年間の計画で、既に1年半が経過し残り3年半しかない。

**答** 「検討をする」「模索をしていく」のような文言で示した施策は5年、10年では完結しない施策です。

**問** 住民アンケートによれば、「町内交通の充実」

が喫緊の課題だ。「現行の循環バス維持のために運行形態や運行経路、料金の見直しに向けた実証実験を行う」という計画の進捗はどうなっているか。

**答** 循環バスの運行形態や方式は、将来的な財政負担や新しい運行技術の採用と併せ検討中です。

**問** 「町民の協働がなければ計画は成功しない」との町長答弁だが、計画未達成の責任を町民に転嫁していないか。

**答** ふるさと納税の返礼品も、保田小の直売所も町民の皆さんの出品が無くては成り立ちません。そういう意味での協働と理解しています。



待たれる二次交通の実証実験

### 求められる危機感

**問** 都市交流施設周辺整備事業では、収支計画がないまま工事を開始している。これは「見切り発車」ではないか。

**答** 令和2年に基本計画および収支計画を作成していますが、議員各位への説明は行っておりませんでした。

**意見** 令和2年の基本計画とは大きく異なる事業だ。収支計画の再作成、説明を待つ。

**問** 町長から「町の財政は健全化が図られてきた」との発言があったが楽観的すぎないか。人口減少率、高齢化率、財政の総合指数である財政力指数、どれも県下最下位だ。

**答** 今の町の構造的な状況を改善することは厳しいです。ただし断言はできないが、今回の事業により地方債の返済が財政に影響を及ぼす事態は無いと考えます。

**意見** 本事業の不振により、将来財政に影響を及ぼす事態となれば、税金を投入するなど、町民が責任を負わされる。計画の着実な実行と、危機感をもった行政運営が求められる。



問

# 医療と福祉の包括的な支援を

答

# 連携推進が図られるようにしていく

笹生 あすか 議員

## 地域医療福祉について

**問** 鋸南病院立て直しのための意見交換会の現状は。

**答** 地域の中核病院としての信頼回復と、全体の質の向上を目的とし、関係職員の意識改革が図られ、少しでも病院の改善に役立つことができないかと意見交換会を立ち上げました。病院実務者8名と町職員5名により、経営状況や決算の勉強会、病院の運営状況、経営改善のための取り組み、外来患者を増やすための方策など現場で従事する職員の視点からの意見交換会を令和3年度に4回行いました。令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、今のところ開催していませんが、必要に応じて招集していきたいと考えています。

**問** 訪問診療や訪問看護、居宅介護事業はとても重要だ。安房地域の医療機関や介護福祉事業所とも連携し、包括的な支援が必要と考えるがどうか。

**答** 連携推進が図られるようにしていきます。

**問** 鋸南町訪問看護ステーション閉鎖の経緯と利用者等の反応は。

**答** 地域の医療環境が変化してきたこともあり、利用者が減少傾向にあって、安房管内でも多くの事業者がサービス提供するなど、民間も参入していることから、令和4年9月末で閉鎖することとしました。閉鎖を惜しむ声は多くあったと聞いています。ご利用者の移行の調整は順調に進めています。

**要望** 近隣の地域医療、福祉はかなり進んできている。国も、医療的なニーズが高くても、在宅介護でフォローできる体制づくりを進めている。利用者のニーズに応えられて、安心して生活できるようにして欲しい。



中核病院として改革を進める

## インボイス制度について

**問** 来年10月からインボイス制度（消費税の適格請求書等保存方式）が導入されることになっている。この制度の導入は多くの国民が影響を受けると言われており、長引くコロナ禍、急速な円安、燃料や物価高騰に加え、さらなる地域経済への影響も心配される。町民から、不安な声が寄せられている。道の駅保田小直売所に出荷している事業者への影響は。

**答** 直売所に出荷している生産者の多くは、小規模な消費税免税事業者であり、発行者事業者へ登録すると、課税事業者となることに不安を抱いているのではないかと推察されます。その結果、生産者の生産意欲の減退、生産者の減少を誘発し、直売所の品目が減り、売り上げなどに影響する可能性も否めません。このような事態を招かないように、関係者と共に、生産者が安心して出荷できる環境を重視して、検討を重ねていきます。

# 事業完了により大幅減 査特別委員会報告～

令和3年度の一般会計・国民健康保険特別会計・後期高齢者医療特別会計・介護保険特別会計・鋸南病院事業会計・水道事業会計は、議会選出の監査委員を除く議員全員で構成する決算審査特別委員会（平島孝一郎委員長）で審査された。一般会計については、歳入総額は52億3635万7千円、歳出総額は48億2954万2千円で、実質収支額が、2億3426万9千円となった。令和3年度各会計について審査を行い採決を行った結果、令和3年度決算について全員賛成で認定すべきものと決定した。

## 一般会計決算の

### 主な質疑

#### 【総務企画課】

**問** 備品で購入のポータブル電源は、いつでも使用できるようマニュアルを作り管理されているか。

**答** 町長より毎月点検するように指示を受けており定期的な確認を行っています。マニュアルは作成していません。

**問** BBQハウス佐久間小学校使用料について今後どのような展開を図っていくのか。

**答** 旅行会社と連携を図るなど検討をしています。



BBQハウス佐久間小学校

**問** 地域防災計画を周知する予定はあるのか。計画自体の周知は考えていませんが、台風被害など具体的に想定されるものに対して情報発信をしていきます。

**答** デジタル戸別受信機の難聴世帯は解消されたのか。

**問** 外部アンテナが設置され聞ける状態と理解しています。

**答** 高速バスのラッピングは1台だけになっているが他の高速バスにも必要ではないか。

**問** 9月の補正予算で、もう1台フルラッピングを予定しており今後も検討していきます。

**答** 豊かなまちづくり寄付金について他市ではかなり努力して収入を上げています。本町の有効な事業、登録商品数と今後の対応は。

**問** 事業者向け説明会を開催し新規7事業者が参加しました。新規商品の発掘を行い、令和3年度末の20事業者70品目から、9月1日現在で27事業者106品目まで増えています。

**答** 域学連携委託について令和3年度の実績は。

**問** 二拠点移住可能性調査、資源活用提案、新モビリティによる交通整備の3点を実施しています。

**答** 女性消防団員の人数は。女性消防団への補助金の役割は大きいが増額は検討しないのか。

**問** 令和3年度の女性消防団員数は15名です。補助金の増額は検討していません。

**答** 通勤支援助成金の支給要件は。

**問** 町内に住所があり蘇外に遠に通勤する町外の事業所等に正規雇用される65歳未満の方で、定期券を購入し通勤している方です。

**答** 町内に住所があり蘇外に遠に通勤する町外の事業所等に正規雇用される65歳未満の方で、定期券を購入し通勤している方です。

# 房総半島台風等の災害 ～令和3年度決算審

## 【税務住民課】

**問** 町税の収納率が上がっているが差し押さえ等も行っているのか。

**答** 年2回滞納対策本部会議を行った上で、滞納者と接触を基本に貯金等の調査、差し押さえ等を適正に行っています。

## 【保健福祉課】

**問** 検診関係について、30歳代、40歳代は成人病予防の中で一番重要な時期といわれているが対応は。

**答** 総合検診は令和元年まで40歳以上を対象に案内してきましたが、令和3年度より35歳以上に対象年齢を広げています。今年度は予約案内と併せて個別に電話で案内をしています。

**問** 福祉タクシー利用数は。

**答** 利用者は10名、利用回数は142回です。

**問** ひとり親家庭医療費扶助は現物支給に変わったとのことだが法改正によるものか。

**答** 令和2年11月に県の要綱が改正され現物給付に変更しました。

## 【地域振興課】

**問** 地域おこし協力隊は定住してもらい町の活性化を担ってもらうが、現在農業の隊員についての対応は。

**答** 任期満了後、新規就農者として認定されれば、次世代人材育成事業の支援金が活用できます。



地域おこし協力隊が活躍中

**問** 出会い応援サポートは何人か。増員は考えているか。

**答** 令和3年度は4名であり、応援サポートと増員の方向で検討しています。

**問** 佐久間ダム維持管理事業周辺整備委託についてトイレ清掃と草刈は分けては。

**答** 改良区と協議して見直していきたいと思っています。

**要望** 予算増も含め委託の方法を考えてほしい。

## 【建設水道課】

**問** 鋸南地区環境衛生組合分担金は毎年人口割による変動はあるのか。

**答** 処理量により若干の変動があります。

**問** ごみの量を減らせれば分担金は低くなるか。

**答** 若干は低くなりますが、鋸南町が減らした量がそのまま分担金として減るというのではなく、それぞれ均等割、人口割に

よりです。

**問** 生ごみ処理のコンポスト購入補助への考えは。

**答** ごみの処理費や、運搬費の軽減につながりますので今後検討します。



生ごみ処理コンポスト

## 【教育課】

**問** 給食センターで使用している米はどこから購入しているか。

**答** 令和3年度は安房農協から購入していましたが、令和4年度からは地元の方から購入を予定しています。

# スポーツの秋



## 議会の日誌

8月22日 議員全員協議会  
 8月30日 議会運営委員会  
 9月6日 第5回定例会開会  
 9月7日 第5回定例会第2日目

9月12日 決算審査特別委員会  
 9月15日 第5回定例会閉会  
 9月27日 議会広報特別委員会  
 10月4日 議会広報特別委員会協議会

## 編集後記

9月議会は、6日初日とし、会期中に令和3年度の決算審査特別委員会を設置し、審査が行われ、15日に閉会しました。

議場での傍聴や議会活動及び各種行事、町政報告会等は、感染症対策を継続して実施した上で行われています。

2年前から私達に出来る新型コロナウイルス対策として、3密を避けること、こまめな手洗い、十分な睡眠とバランスの良い食事の心がけ、免疫力アップ、体調が悪い時の休息、これにプラス『笑顔』としてきました。第7波は小さくなってきましたが、予断は許せず、社会に閉塞感もあります。それでもスポーツ活動が行われ、上欄にはその写真を載せました。皆で健康と体力維持に努めましょう。

(大塚昇)